

福岡大学病院で実施されている人を対象とする医学系研究に関する情報公開

整理番号

12-2-10

研究課題名

腺癌切除例における新しい肺腺癌組織分類(案:IASLC/ATS/ERS classification)に基づく病理組織学的特徴と体細胞遺伝子変異の関係をみるretrospective study

研究責任者

病理学

教授

鍋島 一樹

試料・情報の利用目的・方法

日本における肺癌のなかでは組織型は腺癌が最多です。肺腺癌にも複数の種類が存在し組織形態により亜型が決定され、更に浸潤、非浸潤での区別も存在します。非浸潤癌は浸潤癌よりも予後がいいことが示されており、遺伝子発現解析によっても組織亜型がはっきりした一つのentityであることが示されています。EGFR遺伝子変異は肺腺癌発症に重要な関連があり、肺腺癌の治療薬として使用されているEpidermal growth factor receptor (EGFR) tyrosine kinase inhibitors (TKIs) (EGFR-TKI) (gefitinibやerlotinib)は非小細胞肺癌、特に腺癌、女性、非喫煙者、東アジア系人種により奏効することが知られています。近年EGFR遺伝子突然変異と腺癌組織亜型との相関についての報告]やEGFR-TKIの奏効度と病理組織形態との報告が見られ、病理組織亜型と遺伝子変異との関係が明らかになってきつつあります。そこで肺腺癌外科切除例において新しい肺腺癌組織分類に基づく組織亜型の割合を調べ、更に遺伝子変異、特に治療に関係するEGFRを中心とした遺伝子変異との関係を明らかにすることを目的とします。

研究期間: 開始日

承認日

～

2020/3/31

(予定終了日)

試料・情報の項目

肺癌外科切除標本病理組織、検査データ、診療録

試料・情報の管理責任者

研究責任者: 鍋島 一樹

利用する者の範囲

研究責任者及び研究責任者が指名した研究者(福岡大学内)

他の研究機関への試料・情報の提供先:

国立病院機構九州がんセンター 統括診療部臨床検査科/病理診断科

※ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止しますので、下記へご連絡ください。

連絡先: 鍋島 一樹

電話番号: 福岡大学病院(代表)092-801-1011

福岡大学病院 病院長